



“わたしたちの社協の一押し事業”



「あんしんカード(あんしん医療情報カード)」の推進

／我孫子市社会福祉協議会

事業名：あんしんカード（あんしん医療情報カード）
○具体的な内容・中身 ・ 自宅で病気や怪我で倒れ、救急車を呼んだ時又は災害時にあんしんカードにより救急隊員が必要な情報を得られ、迅速に救命措置に役立てるためのもの。
○その事業を始めたきっかけ ・ バザーの収益金を何に活用するかを検討した際、救急時の医療情報提供のやり方が自治会ごとにバラバラだということがわかり、市内で統一したいという声があったため。 ・ 消防との連携もうまく取れるよう、統一させようということになった。
○事業の特長、特に強調したい点 ・ 65歳以上の方、65才以上のみの高齢者世帯、障害手帳等所有の方へ無料配布 ・ 民生委員による世帯調査時に配布、訪問時のツールとして使用できるので便利。
○事業の財源と事業費の内訳、業務量（事務量、負担感・協力者の人数等） ・ 初年度は、バザーの収益金。 ・ 民生委員の協力により配布
○事業の効果、住民・関係者からの評価 ・ 救急時の情報提供のやり方が統一された。 ・ 消防にとっても統一されたことで対応しやすくなった。 ・ 一人暮らしの高齢者の緊急連絡先の連絡が取りやすくなった。 ・ 自治会でまとめて購入していただき、見守り活動の手段として利用してもらえるようになった。
○今後、同じような活動始めるに当たってのヒント・アドバイス ・ 消防署との連携が不可欠。消防職員にも知ってもらってないと役に立たない。 ・ あんしんカードへの記入がされていないことも少なくない。周知の徹底が必要。
この事業に関する問合せ先：我孫子市社会福祉協議会（担当：武者小路）電話 04-7184-1539

（平成 28 年 3 月 22 日作成）

～安全と安心は冷蔵庫の中から～

「あんしんカード」を活用しよう!

自宅で具合が悪くなり救急車を呼ぶ「もしも…」のとき又は災害時の安全と安心を守る取り組みとして、あんしん医療情報カード（あんしんカード）配布事業を実施しております。かかりつけ医や服薬内容などの医療情報を記入したカードをいれた筒型の容器を冷蔵庫に保管し、救急時（119番出動）に、本人等が病状等を説明することができない場合、救急隊が保管された情報をもとに、「かかりつけ医療機関」や「搬送先医療機関」などと連絡・連携し、迅速な救命措置等に役立てます。

1 救急通報

「あんしんカード」があることを示すステッカー



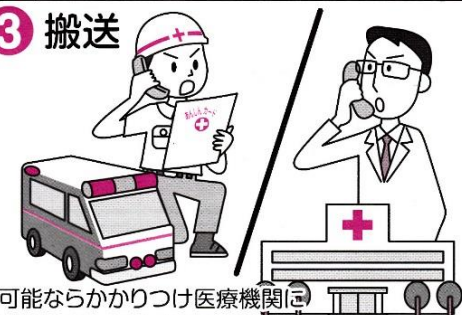
救急車をお願いします

2 発見・確認



救急隊員が「あんしんカード」から医療情報を確認

3 搬送



可能ならかかりつけ医療機関に搬送、そうでない場合は他の救急病院へ

■なんで冷蔵庫？

かけつけた救急隊員がすぐに「あんしんカード」を探し出す必要があります。そのための最適な場所が冷蔵庫です。ほとんどのお宅で冷蔵庫は台所にあるので、「あんしんカード」がどこにあるかすぐにわかります。

※かかりつけ医療機関が救急病院であっても、他の病院に搬送される場合があります。

お問い合わせ

我孫子市社会福祉協議会

☎04-7184-1539

あんしんカード

(あんしん医療情報カード)



社会福祉法人
我孫子市社会福祉協議会
☎04-7184-1539



(オモテ面)

もし、具合が悪くなったら

●119番へ連絡

- 救急隊が到着



- 冷蔵庫の中から「あんしんカード」を取り出し、あなたの医療情報を確認

- 家族や知人に連絡

- 病院へ搬送

「あんしんカード」と一緒に
入れておくと良いもの

- ☐ 薬剤状況提供書 (写し可)
- ☐ 健康保険証 (写し可)
- ☐ 診察券 (写し可)
- ☐ 本人確認用の写真

玄関の内側又は、冷蔵庫にステッカーが貼られている場合は、本人及び同居人等の同意を得ることなく、冷蔵庫を開けて「あんしんカード」を取り出すことがあります。

(ウラ面)

